

# 桂川町の明日を語る ～ローカルマニフェスト型公開討論会～ ローカルマニフェスト

氏名 井上利一 (印)

基本理念（桂川町市政の現状認識と目指すべき桂川町のビジョン）

## (現状認識)

町政の歴史の中で、近年の動きは目まぐるしいものがありました。このことは町づくりを考える上で忘れてはならない経験だと思っています。合併問題に端を発し、リコールによる議会解散選挙、町長不信任案の可決、再びの選挙が繰り返され、町政に対する信頼は大きく損なわれました。平成18年3月に合併した飯塚市、嘉麻市とは別に、単独での町政の運営にあたり、信頼の回復と元気な町づくりを目指して、町政懇談会や報告会、職員懇談会などの対話を深めながら、様々な取り組みを展開してきたところです。

その成果として、町内外における信頼関係は町民の皆さんのご理解とご協力のおかげで大きく改善できたと思っています。また、元気な町づくりの根幹である財政の安定化は、21年度決算のとおり、経常収支比率は94.9%となり、地方債の残高も37%削減、4項目の健全化判断比率も安心できる状況にあります。苦難を乗り越えてようやく桂川町らしさが取り戻せた段階だと認識しています。

## (ビジョン)

桂川町は、平成22年9月町議会において財政非常事態を解除しました。これは一言でいえば、町民の皆様のご理解とご協力により、財政が安定したからです。これを機に、マイナス志向からプラス志向に意識を転換し、町の将来を見据えた課題の解決に積極的に取り組んでいくことが大切だと思います。

町の将来像については、現在総合計画の策定中ですから、私の主観を申しますと、桂川町は豊かな自然・地の利・コンパクトな町並みがあります。こうしたことから、均整のとれた住みよい定住化を促進し、福岡都市圏との人口交流の拡大を図り、活性化を目指すべきだと考えています。そのためには、協働の精神をもって、教育・福祉の充実、生活環境の整備、良好なコミュニティの形成に努め、誰もが住みよさが感じられ、人の心が温かく通い合い、自分の町に誇りが持てる町づくりを推進したいと思っています。

## すぐに行う重要施策（優先順位高い順に3つ）

### ①効率よい行政運営と財政の健全化の維持

桂川町は財政非常事態を解除しましたが、これからの行財政の運営については、時代の推移を読みながら、住民のニーズに対応できる体制を常に創っていく必要があります。

特に、昨年政権が交代し、現在「地域主権改革」の具体的な内容が検討されていますし、一方で「道州制」の導入についても議論が続いています。桂川町は、こうした変革に対し、住民福祉あるいは住民サービスが低下しないように対応できる体制づくりが重要です。

時代は確実に進展しています。ですから町づくりに「これでよい」ということはありません。このため、絶えず行政組織の見直しや人材の育成、自主財源の確保に努め、安心して暮らせる町づくりに取り組んでまいります。

### ②情報の発信及び公聴制度の創設と自治基本条例の制定

時代の進展とともに住民の行政に対するニーズが変化していくことは周知のとおりです。町の現状や取り組みの内容について正しい情報を分かりやすく発信するとともに、住民の皆さんの声を幅広く聞ける制度を作ることは大切な責務であります。そのため、広報紙の更なる充実や町政報告会、懇談会を継続して開催し、対話を深めていきます。

また、町づくりの根幹に係る課題については、民意を尊重するための住民投票条例を基軸にした自治基本条例の制定が必要です。町づくりの憲法と言われる自治基本条例の制定のためには多くの住民の参画を求めながら、早急に取り組んでいきたいと考えています。

### ③教育、福祉、子育て支援の充実

桂川町が定住化を促進していく上で、教育環境の整備や教育力の向上、そして子どもたちの学力並びに体力の向上に向けた取り組みは欠かすことはできません。その具体策として、30人学級の実施や教職員の資質の向上、校舎等の改修整備に取り組んでまいります。

また、健康増進に重点を置いた積極的な健康づくりや高齢者、障がい者の方の生活支援も充実を図ります。このため、各種検診や予防のための事業を推進するとともに、住民のニーズに即した制度等の新設についても検討します。

子育て支援事業は、単に子育てが楽になるということではなく、子どもたちの豊かな情操教育、健やかな成長を念願するものです。安心して子育てができる環境づくりや新たな幼児教育のあり方等についても研究し実践していきます。

## 4年間でやる重要施策（優先順位高い順に3つ）

### ①生活環境の整備と定住化の促進

- ・ 通学路及び生活道路の防犯外灯の増設並びに管理体制の充実
- ・ JR桂川駅前の混雑緩和と利便性の高い周辺整備計画の推進
- ・ 町営住宅の改修に必要な基本計画の策定と計画に基づく事業の推進
- ・ 子どもたちが安心して遊べる広場の整備
- ・ それぞれの地域の実情に応じたコミュニティの充実促進

### ②人材の確保と育成

日本の社会を含めた国際社会がこれからどのように変化進展していくのか容易に想像することはできません。地方自治体の行政組織も新しい法律の制定や制度の改正など多様な対応が必要とされてくると思われれます。このため、優秀な町職員の確保と資質の向上を図るとともに、適材適所を基本においた組織の改編を行い、モチベーションの向上を図ります。

小さな町だからこそできる大きなメリットは、住民の皆さんと役場職員との間において、お互いに相手の顔が見えるということです。つまり、より緊密なコミュニケーションが取れるということです。

桂川町は、ここ数年の間に多くの定年退職者があります。人材の確保と育成は行政の継続性、発展性を図るうえで重要な課題です。

### ③産業の育成・振興と商工業の活性化

豊かな定住区の要件の中に雇用の場の確保が求められ、併せて地元の商工業の活性化は元気な町づくりのバロメーターと言えます。商工会との連携を図りながら、現在実施中のプレミアム付商品券販売事業等の充実に努めます。

また、桂川町の基幹産業は農業ですが、農業政策においては十分な成果が上がっているとは言えません。このため、農業振興に対する新しい風を起こすことが大切です。そのためには、農業者の皆さん、あるいはJA福岡嘉穂等の関係機関の協力が必要ですが、これに加えて嘉穂総合高校や合鴨農家との連携も考慮し、特産品の開発を目指していくことが大切だと考えています。

<個別テーマ>

1. 行財政改革の具体策を優先順に3つ挙げてください。

|     |  |    |    |      |          |
|-----|--|----|----|------|----------|
| ①内容 | 行財政の効率化  | 期限 | 継続 | 数値目標 |          |
| 手段  | <p>桂川町の職員の年齢構成は、これからの5年間で30人の定年退職者が出ます。このことも踏まえて、組織の改善を進め、効率的で無駄のない行政運営に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適材適所の人員配置と健康管理——モチベーションの強化とメンタルヘルス対策の継続</li> <li>・職員の資質の向上——人事交流の実施、各種研修会等の積極的参加</li> <li>・行政組織等の改編——事務事業の見直しを行うとともに住民のニーズに応えられる体制の整備</li> </ul> |    |    |      |          |
| ②内容 | 自主財源の確保  | 期限 | 継続 | 数値目標 | 年間2000万円 |
| 手段  | <p>税金等の収納を強化するため、21年度から収納対策室を新設し、税金の負担の公平性を守り、徴収率を上げるために一元化した取り組みを進めています。特に、町税や住宅使用料、保育料などにおいて、悪質と判断されるものについては積極的に法的手段を取りながら推進していきます。</p> <p>また、旭ヶ丘団地の分譲については、現在、39区画中16区画を分譲していますので、残り区画は23区画で、金額にすると1億6460万円になります。今後とも、積極的な販売作戦を取りたいと考えています。</p>                         |    |    |      |          |
| ③内容 | 行政評価、事務事業仕分の実施   | 期限 | 継続 | 数値目標 |          |
| 手段  | <p>行政評価制度の導入及び事務事業仕分を実施します。</p> <p>財政の健全化を維持するために、行政評価、事務事業仕分による優先順位・必要性の確認・住民ニーズの把握等に努め、地方債の適正な活用を図ります。</p> <p>投資的事業に係る地方債の発行は年額1億5000万円を目安とします。ただし、国及び県のモデル事業等で、町の財政上有利と判断されるものについては別枠で検討します。</p>  |    |    |      |          |

2. 桂川町経済活性化の具体策を優先順に3つ挙げてください。

|     |   |    |    |     |       |    |      |
|-----|---|----|----|-----|-------|----|------|
| ①内容 | 企業誘致の促進と遊休地の活用  | 期限 | 継続 | 事業費 |       | 財源 |      |
| 手段  | <p>経済の全体的な冷え込みにより、企業の誘致は難しい状況にあります。桂川町では平成20年7月に立地協定を結び、用地を売却した株式会社竜製作所が、リーマンショックの影響から工場の建設を見合わせています。会社には早い対応を要請していますが、なかなか難しい点があるようです。</p> <p>このことも踏まえながら、町内企業との連携を図るとともに、情報の交換を活発化し、民間企業が持っている遊休地の有効活用についても取り組んでいきます。</p> |    |    |     |       |    |      |
| ②内容 | 地産地消の促進   | 期限 | 継続 | 事業費 |       | 財源 |      |
| 手段  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いせんとれたて村の活動支援と嘉穂総合高校、JA福岡嘉穂との連携強化</li> <li>・地元生産作物等の学校給食への利活用を推進</li> <li>・桂川町の特産品の開発と販売ルートの創設</li> <li>・桂川町が発祥の地である「合鴨農法」の普及研究</li> </ul>  |    |    |     |       |    |      |
| ③内容 | 定住化促進とサービス業の振興  | 期限 | 継続 | 事業費 | 150万円 | 財源 | 一般財源 |
| 手段  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活環境の整備や明るく住みよい町づくりの推進による定住人口の増加を目指す。</li> <li>・高度情報通信網の敷設のための情報の収集及び補助メニューの研究</li> <li>・商工会との連携による町内事業所の活性化——プレミアム付商品券の発行</li> <li>・住民のニーズに適した各種福祉サービス等の事業化</li> </ul>             |    |    |     |       |    |      |

3. 上記2つ以外の重要課題を具体的に3つ挙げてください。

|     |  |    |    |     |          |    |          |
|-----|--|----|----|-----|----------|----|----------|
| ①内容 | 桂川駅周辺整備・駅前広場事業   | 期限 | 2年 | 事業費 | 約1億円     | 財源 | 産炭地活性化基金 |
| 手段  | <p>桂川駅の特徴の一つはパークアンドライド、つまり車等による送迎が多いということです。特に朝夕の通勤通学の時間帯は混雑が激しいため、駅前広場、車の乗降場、バスの転向所、タクシー乗り場等の整備を行い、安全で安心して利用できる駅周辺の環境整備を実施します。</p> <p>《事業の概要》<br/>道路改良工事:延長220m、駅前広場整備工事:面積2700㎡、駐輪場の改修:面積140㎡</p>  |    |    |     |          |    |          |
| ②内容 | 教育環境の整備と教育力の向上   | 期限 | 継続 | 事業費 | 年間2000万円 | 財源 | 一般財源     |
| 手段  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校における30人学級の実現</li> <li>・町立桂川幼稚園の基本計画に伴う課題解決の取り組み</li> <li>・町立保育所の送迎時における安全のための交通混雑の緩和対策</li> <li>・小中学校の通学路及び生活道路の整備と街路灯の増設、維持管理の充実</li> </ul>  |    |    |     |          |    |          |
| ③内容 | 町営住宅の改修計画の策定   | 期限 | 2年 | 事業費 | 500万円    | 財源 | 交付金、一般財源 |
| 手段  | <p>平成13年度にまとめられた「町営住宅ストック総合活用計画」及び平成16年度の「町営住宅(二反田)再生団地計画」は、経済情勢の変動等により、計画通りの実施は困難な状況にあります。例えば、二反田団地再生計画の試算によれば、総事業費17億6000万円、町負担10億7000万円となっています。</p> <p>このため、従来の計画を抜本的に見直し、老朽化している町営住宅の改修について新たな計画を作り、桂川町の現状に即した安心して快適に暮らせる住宅づくりに取り組みます。</p> |    |    |     |          |    |          |